

令和4年度当初予算（案）の概要



新たな未来づくりへの挑戦

～より高いレベルの安心の確保、成長の実現を目指して～



令和4年2月

 山口県

予算編成の基本的な考え方

- ◆ 直面するコロナの危機から県民の命と健康を守り抜き、暮らしの安定を確保する。
- ◆ 長期化するコロナ禍や年明けからのオミクロン株の急拡大の影響により、大きく傷んだ社会経済を力強く再生させ、山口県の元気を取り戻す。
- ◆ コロナ禍がもたらした人々の意識の変化やデジタル化をはじめとする社会変革を大きなチャンスと捉え、単にコロナ前に戻すのではなく、より高いレベルの安心の確保と成長の実現を目指していくことで、新たな未来に向けた県づくりをしっかりと前に進める。
- ◆ これらの取組を通じて、コロナの危機を克服し、安心して希望と活力に満ち溢れた山口県をコロナ前よりもさらに高く飛躍させていく。

I コロナの危機から県民の命と健康を守り抜く取組

検査体制の確保、医療提供体制の強化、ワクチン接種の迅速な実施等に万全を尽くし、直面するコロナの危機から県民の命と健康を守り抜き、暮らしの安定を確保する。

II 長期化するコロナ禍や現下の感染状況による影響を踏まえた経済対策の実施

長期化するコロナ禍やオミクロン株の急拡大の影響により大きく傷んだ社会経済を力強く再生させるため、事業活動の継続・活性化の支援や消費需要の喚起に取り組む。

III 新たな未来に向けた県づくりの推進

コロナ禍がもたらした人々の意識の変化やデジタル化をはじめとする社会変革を大きなチャンスと捉え、コロナ前よりも、より高いレベルの安心の確保と成長の実現を目指して、県政の各分野で質の高いサービスを提供し山口県の新たな未来に向けた県づくりをしっかりと前に進める。

当初予算のポイント

当初予算規模（一般会計）

7,862億円

当初予算編成の状況

（単位 百万円）

区分	令和4年度 当初予算 (A)	令和3年度 当初予算 (B)	増減額 (C=A-B)	増減率 (C/B)
予算額	786,244	752,893	+33,351	+4.4%

I コロナの危機から県民の命と健康を守り抜く取組

▼ 検査体制の確保、医療提供体制の強化、ワクチン接種の迅速な実施等に万全を尽くし、直面するコロナの危機から県民の命と健康を守り抜き、暮らしの安定を確保する。

1 感染拡大防止対策の強化

【検査体制の確保】

- PCR検査等の強化（最大8,000件/日）
 - ・ 保健所、医療機関等による行政検査の実施
 - ・ 感染拡大時における薬局等での無症状者の検査の実施
 - ・ 県内事業者がエッセンシャルワーカーなど従業員に対して自主的に行う検査の支援
 - ・ 妊婦の検査の支援
 - ・ 学校行事等に即した随時検査の実施



【医療提供体制の強化】

- 入院患者受入病床の確保
 - ・ 入院患者受入病床を691床確保
- 軽症者等の宿泊療養施設の確保
 - ・ 宿泊療養施設を930人分確保



【ワクチン接種体制の確保】

- ワクチンの迅速かつ円滑な接種のために必要な体制整備



【学校、社会福祉施設等の感染防止対策】

- 学校、社会福祉施設等での衛生用品購入等の支援
- 感染リスク低減のため、総合支援学校の通学バスの増便や大型化等の取組を実施

2 県民生活の安定

新 社会全体で結婚を応援する気運を醸成

～withコロナ時代の Happy Wedding～

- ・ 安心・安全な結婚式等を実施するカップル500組に挙式料等の関係経費を支援
- コロナ禍において様々な困難や不安を抱える方への支援の継続、相談体制の確保



II 長期化するコロナ禍や現下の感染状況による影響を踏まえた経済対策の実施

▼ 長期化するコロナ禍やオミクロン株の急拡大の影響により大きく傷んだ社会経済を力強く再生させるため、事業活動の継続・活性化の支援や予算総額100億円を超える大規模な消費需要の喚起に取り組む。

1 県内経済の下支え

● 中小企業者等の経営安定のための制度融資の実行、利子補給の実施、信用保証料の支援

● 飲食店における感染防止対策に係る第三者認証制度の推進



新 県内事業者のEC活用を促進し、販路拡大の支援

～ポストコロナの新たな販売スタイルへ～

- 大手ECサイト等を利用したやまぐちフェアを開催
- EC取引に係る送料を支援 等



2 消費需要の喚起

新 本県の観光関連産業の維持及び持続的な需要回復

～観光のV字回復に向けた好循環の創出～

- 「GoToやまぐち事業」実施による、全国を対象とした旅行商品の割引・クーポン券の付与
(旅行商品の割引上限20%、クーポン券上限3千円)

※制度詳細については国の動向を踏まえ決定

新 飲食店や農林漁業者を応援

～安心・安全に県内まるごと食べつくし～

- 「やまぐちプレミアム食事券」の発行
(プレミアム率25%)

新 県産農林水産物の需要を喚起し、生産者の経営安定

～“ぶちうま”な県産のお米やお魚を食べて生産者を応援！～

- 県産農林水産物の消費需要を喚起するキャンペーンを実施(県産米の増量販売、高級魚等の割引販売)

新 県内店舗の資金支援と消費喚起の実施

～クラウドファンディングでやまぐちのお店を元気に！～

- プレミアム付きチケットの購入で店舗を支援するクラウドファンディングを実施

新 観光消費額の向上

～稼ぐ力を強化し、持続可能な観光産業を実現～

- ビッグデータ等の分析に基づく観光プロモーションと着地整備を一体的に展開

プレミアム率	50%
目標支援金額	20億円

新 海外との往来再開後のインバウンド誘客の促進

～デジタル活用で本県の魅力を世界に発信～

- デジタルプロモーションの展開等

Ⅲ 新たな未来に向けた県づくりの推進

1 より高いレベルの安心の確保

▼ コロナ禍において身近で切実に感じ、その必要性が再認識された医療や福祉を充実・強化し、いざというときに大切な命や健康が守られる、より高いレベルの安心を確保する。

【医療・介護の充実】

新 本県医療の中核的役割を担う
県立総合医療センターの更なる
機能強化について検討を行い、
基本構想を策定



新 ICTを活用した遠隔医療提供体制の構築

～デジタルが拓く地域医療のミライ～

- 5G環境での遠隔医療の実証
継続及び場所を問わず遠隔医療
が可能な高画質モバイル中継装
置のモデル事業を実施



新 感染管理の要となる認定看護師の養成

～感染管理で安心して暮らせる社会を～

- 感染管理認定看護師養成研修を
山口県立大学で実施



● 介護施設等における業務の効率化及び提供サービスの
質の向上

- 記録から請求業務までを一貫して
行えるソフトの導入経費等を支援



【子育て支援】

● 県民からの妊娠、出産、子育てに
関する相談に24時間365日対応

- AIチャットボットや母子手帳
アプリと連携した総合的な子育て
支援システムを運用



● 子育ての不安や育児疲れ、児童虐待、DVなどの
問題の深刻化を未然に防止

- LINEを活用した24時間365日対応の
SNS相談体制を整備

新 医療的ケア児の地域生活支援の向上

～医療的ケア児と家族の安心生活をサポート～

- 医療的ケア児支援センターを設置
- 保育所等での看護師配置等、受入体制整備支援



新 ヤングケアラーを早期に把握し、適切な支援に
つなげる体制の整備

～ヤングケアラーに支援の手を届けます～

- 実態調査を実施、シンポジウムを開催

新 子どもと里親とのマッチング業務の効率化

～里親委託の円滑な推進～

- 子どもと里親とのマッチング支援システム等を整備



Ⅲ 新たな未来に向けた県づくりの推進

2 より高いレベルの成長の実現

▼ コロナ禍がもたらしたデジタル化による環境変化をチャンスと捉え、全県的にデジタル化を強力に進めながら、これを最大限活用し、社会全体でより高いレベルの成長を実現する。

【デジタル社会の実現】

● 全県的なDXの推進

- 「Y-BASE」及び「デジテック for YAMAGUCHI」を核とした幅広い分野でのDXを推進



「デジテック for YAMAGUCHI」

デジタル技術を活用して、山口県が抱える地域課題の解決や、新たな価値の創造を持続的に行うため、シビックテック的活動からビジネス的活動まで幅広く取り組む官民連携の会員制組織

【中堅・中小企業のデジタル化】

● 革新的な生産性の向上、既存ビジネスの変革、新規ビジネスの創出の促進

- クラウドサービス導入や情報システム構築等を支援

新 県内中小企業の成約率向上及び販路拡大の支援

～新たな時代の企業の販路拡大を後押し～

- オンラインを活用した展示会・商談会への県内中小企業者等の出展を支援

新 官民のデジタル人材の育成

～デジタル技術で課題解決できるDXリーダーを輩出～

- デジタル技術を有効に活用するための多彩な研修を実施

新 誰一人取り残さないデジタル社会の実現

～「デジタルデビュー」でより豊かで便利な生活を！～

- デジタルでより生活を豊かにするためスマートフォン等を活用したモデル事業等を実施

● 行政サービスの更なる向上や業務の効率化

- 自治体行政の様々な分野で県と市町が共同でRPA等を導入

新 デジタル技術を活用した採用活動の考え方、ノウハウの習得支援

～新卒者獲得に向け、県内企業の採用活動をデジタル化～

- セミナーの開催やアドバイザー派遣による伴走支援を実施



新 地域ぐるみでデータ分析・活用スキルを高め、観光地経営のDXモデルを形成

～データに基づいた観光地経営の実践～

- 観光地の課題解決方法を検討・検証するワークショップを開催

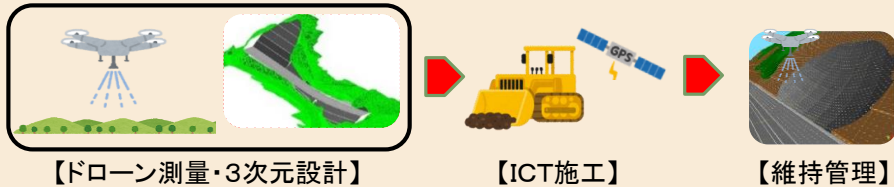
Ⅲ 新たな未来に向けた県づくりの推進

2 より高いレベルの成長の実現

【建設DXの推進】

● 建設現場の生産性の向上

- ・ 測量・設計、施工、維持管理の各段階で3次元モデルの活用を促進

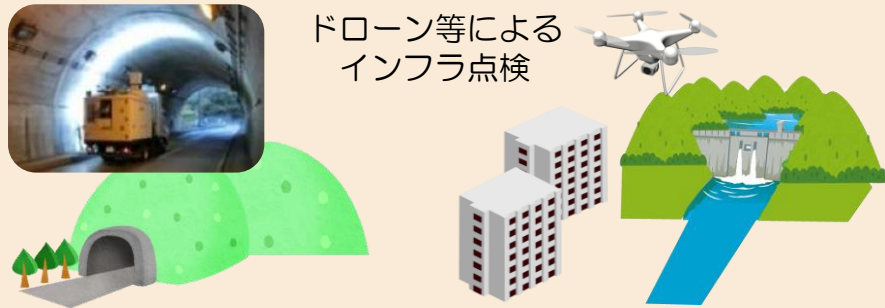


※3次元モデル
対象とする構造物等の形状を3次元で立体的に表現した情報

〈イメージ〉

● インフラメンテナンスの高度化・効率化の推進

- ～インフラ管理のデジタル化で安心・安全な暮らしを実現～
- ・ 対象施設の拡大に向けた調査・検討



【スマート農林水産業】

● 高齡化等により減少する熟練者の農林漁業技術の継承～ 熟練技術の「見える化」で「匠の技」を再現・創出～

- ・ 熟練者による「匠の技」をデジタル技術により再現・創出する「山口型スマート技術」を確立



● 県産農林水産物の輸出の拡大

- ～遠隔地のバイヤーを一瞬でご招待～
- ・ Web産地招へいシステムを導入・運用



● 県産麦の高品質・安定供給体制の確立

- ～デジタルで創る 競争力のある麦産地～
- ・ 衛星画像やAIによる県産麦の栽培管理や品質改善を促進

● 資源保護と持続可能な漁業の両立の推進

- ～デジタル技術を活用した新たな資源管理モデルの推進～
- ・ 漁場の3Dデータ化及び資源量調査に基づく分析と管理ルールを提言、操業支援システムを構築

Ⅲ 新たな未来に向けた県づくりの推進

2 より高いレベルの成長の実現

【イノベーションの創出】

【拡】ものづくり企業等における生産性向上や、新たな付加価値創出の促進

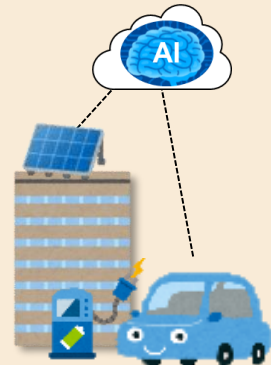
- 5G・AI等の未来技術の導入・利活用や、新たな製品・技術等の創出に向けた取組を一貫支援



【拡】公共施設における再エネ等の導入、活用の推進

～EVで再エネを賢く使おう!～

- IoTを用いた遠隔制御でEVの充放電を行うモデル実証を実施
- 県有施設への再エネ導入調査・設計を実施



【拡】新たなイノベーションの創出、県内産業の活性化

～水中ロボット開発にトライ～

- 水中関連技術に関するセミナー・講座を開催
- 水中ロボットコンテストを開催

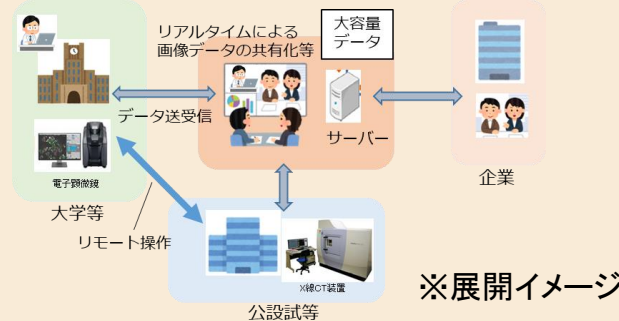


「岩国海洋環境試験評価サテライト」
提供 防衛装備庁



● 企業の新製品・新サービス開発の促進

- やまぐち情報スーパーネットワーク（YSN）を活用し、リモートデータ解析の実証、遠隔利用ソフトウェア等の導入により研究開発基盤を構築



※展開イメージ

Ⅲ 新たな未来に向けた県づくりの推進

3 新たな人の流れの創出・拡大

▼ コロナ禍がもたらした人々の意識の変化を的確に捉え、都市から本県への移住やスポーツ・文化を活かした誘客の促進など関係人口の創出・拡大に向けた取組を加速する。

● テレワークを活用した新たな人の流れの創出

- 県庁1Fに開設した「地方創生テレワーク」のモデルオフィス「YY! SQUARE」に都市部テレワーカーを受け入れ、その取組を全県に波及
- 国の地方創生移住支援事業を活用し、移住後も引き続き業務を行うテレワーカー等を支援



● 県内外からの誘客の促進

- キャンプとアクティビティを結びつけたツアー造成等を支援
- 参加型アウトドア体験イベントの実施



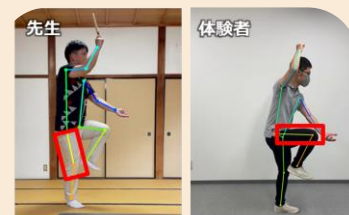
新 文化振興を観光振興へつなげ、県内周遊を促進

～「AI×伝統芸能」による文化振興・周遊促進～

- AIを活用した「鷺流狂言」の体験コンテンツを制作し、県立文化施設等に設置、公開

● 関係人口の創出・拡大や移住の促進

- 山口宇部空港に開設した「YY! GATEWAY」を起点に、山口型ワーケーションを推進



採点
5.5点!!

Ⅲ 新たな未来に向けた県づくりの推進

4 「新たな日常」を支える人材育成

▼ 県立学校のICT環境を効果的に活用して教育活動の一層の充実を図る取組や学校、行政、地域、企業、団体等の連携の下、新たな時代に対応した人づくりを推進する。

● 子どもの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」の推進 **新** 人づくりの取組を全県的に推進

～広がる教室、深まる学び

「やまぐちスマートスクール構想」の推進～

- 教育データを分析し、生徒指導・教科指導に活用
- 海外の学校等との遠隔授業を実施



海外とのオンライン交流



新 障害に応じた個別最適な学びの実現と、児童生徒の「自立と社会参加」の促進

～VR活用で学校にいながら社会体験学習を実現！～

- 関係機関との共同による校外学習・職場体験用のオリジナルVR動画を作成



● 子どもの創造力・表現力の育成

- 創造力・表現力等を育むワークショップを一堂に集めたイベントを開催



● 世界に向けた広い視野と身近な問題に目を向ける視点の両方を持つグローバルリーダーの育成

- セミナー、異文化理解等のワークショップを開催

4 令和4年度当初予算における財源不足及び財源調整用基金の状況

- 当初予算編成時における財源不足額（66億円）について、予算編成過程においてオミクロン株による感染急拡大を踏まえた検査体制の強化や更なる感染拡大防止対策の実施などにより歳出が増加したものの、地方創生臨時交付金等の活用や予算編成過程における歳出削減、歳入確保等の取組により、最終的な財源不足額は53億円となりました。
- 一方、令和4年度当初予算において経済対策を実施するに当たり、令和3年度国補正予算（第1号）により追加交付された地方交付税（臨時経済対策費）を財源として活用する等のため58億円を財源調整用基金に積み立てるなど、最終的な令和3年度末の基金残高は201億円となります。
- その上で、令和4年度当初予算において財源不足への対応（53億円）と令和3年度との財源調整（58億円）のため財源調整用基金を取崩したことで、令和4年度末の基金残高（見込）は90億円となります。

財 源 不 足 額

▲53億円(R4当初)
※財源調整用基金の取崩しにより対応

←

▲66億円(編成方針策定時の見込み)

《財源調整用基金の状況》

(単位 億円)

区 分	令和3年度		令和4年度
	当初予算	最終予算後	当初予算
年度末残高 (見込)	95	201	90

残高増加額	106
うちR4財源分	58

取崩額	111
うち財源調整	58
うち財源不足	53

《基金残高の推移》

(単位 億円)

区 分	H30	R元	R2	R3	R4
基金残高	78	96	111	95	90

※当初予算ベース

※財源調整用基金：財政調整基金、減債基金、大規模事業基金の合計

5 一般分の県債残高の状況

プライマリーバランス（公債費－県債発行額）の黒字の堅持

- 一般分の県債に係るプライマリーバランスは、平成13年度以降、22年連続で黒字。（+ 89億円の黒字）
- 県債全体のプライマリーバランスも、11年連続の黒字。（+ 330億円の黒字）

《参考》プライマリーバランスの推移

（単位 億円）

区 分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
県債全体	79	196	276	277	208	160	104	230	55	330
うち一般分	393	420	360	312	223	136	1	114	103	89
うち特別分	▲321	▲233	▲95	▲48	▲28	11	90	103	▲60	237

※当初予算ベース(26年度は6月補正後予算ベース)

県債残高（一般分）の状況

- 一般分の県債残高について、令和3年度は、国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に対応するための県債の追加発行により増加するが、令和4年度は再び減少に転じる見込み。

（単位 億円）

区 分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
県債残高	12,833 (93)	12,806 (▲27)	12,697 (▲109)	12,573 (▲124)	12,402 (▲171)	12,265 (▲137)	12,201 (▲64)	12,109 (▲92)	12,015 (▲94)	11,721 (▲294)
うち一般分	8,236 (▲273)	7,971 (▲265)	7,684 (▲287)	7,481 (▲203)	7,266 (▲215)	7,112 (▲154)	7,118 (6)	7,025 (▲93)	7,163 (138)	7,097 (▲66)
うち特別分	4,498 (358)	4,745 (247)	4,932 (187)	5,024 (92)	5,081 (57)	5,109 (28)	5,052 (▲57)	5,065 (13)	4,846 (▲219)	4,622 (▲224)

※H25末～R2末は決算、R3末は2月補正後予算、R4末は当初予算ベース